

以上ノ加工作業ハ製鐵所當業者ノ好意ト雖工場職員以下ノ熱意アル協力ニ依リ實現セ
ルモノニシテ兵船整備上多大ノ貢獻ヲナシタルヲ信ス

四 八幡製鐵所ノ現況

八幡製鐵所ニ於テハ原材料ノ逼迫ニ伴ヒ鑛鋼ノ生産ヲ擧扼セラレリ而シテ第三、四半
期ニ於テ一〇二、三%ノ成績ヲ擧ゲタリトハ謂ヘ本數量ハ從來ニ於ケル最高記録ノ半數
ヲモ充テザル實情ニシテ眞のニハ勿論原料ノ質的低下ノ傾向ハ愈々作業ヲ困難ナラシメ
又電氣爐ニ於テハ炭素棒ノ入手難、電力短ニ付金鐵ノ不足等ニ因リ此ノ生産ヲ擧グル
コト能ハス國軍ノ爲眞ニ遺憾トスル所ナリ
當所ニ於テハ小倉造船廠ノ協力ヲ得テ船局ノ打開ニ協力ヲ盡シアルモ聖戰完遂ノ爲ニハ
一層強力ナル中央ノ支援ヲ要スルモノト認メアリ

1574

昭和二三調

1575

昭和十九年度陸軍部隊別鋼材取得實績表

部
隊
別
區
分
其
期
別

1576

昭和二十年三月調

1577

附表第五

防弾鋼板緊急修正備計畫表

車種	數量	月別整備數量											
		三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
子又車	一五〇	五〇	一〇〇										
子ト車	二〇〇			三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇		
ホ二車 (二型)	二五〇		三〇	三〇	三五	三五	三五	三五	十月以降 五〇				
成品重量		七五	一七〇	二〇〇	二〇三	二〇三	二〇三	二〇三	一八〇	一二〇			
ホ二車 (輕)	二〇〇												
ナト車	二〇〇												
備考	一ホ二車(二型)五〇輛ハ多少設計變更ノ豫定 ニホ二車(輕)及ナト車ハ設計ハ完了												
								九月以降 二〇〇					

1578